





消息性未

凡消息之道者性也

而遠由不限何事

人間在在有用之元也

先書狀者紙之極文

天曜文庫

消息往來講釋
 消息の書状の音
 信のひかき 啓上
 尊翰の芳
 墨の芳
 簡の芳
 御前紙の拜
 誦の披閱
 言の長閑
 麗の薄暗

字一筆 啓上仕致
 啓上仕致
 又尊書の猶更
 書貴札法状書
 手翰は紙面は書紙

鬱陶敷
 御勇
 安全
 安泰
 安寧
 堅固
 息災
 公家
 重
 大慶

汗見持漏披の紙
 園各一覽時儀
 任四季春の儀
 春暖暖氣長閑
 春寒未退者

恐賀おそがわ 祝いわい 着あは 満足まんぞく 重畳ちゆうじやう 都合能つごうのう 首尾能しゆびのう 無恙むじやう 欣然きんぜん 祇候ぎこう

言能夏も涼暑も白
暑も土用入而甚暑も夏
晴極星も冠凌入梅中
不勝之心も天氣暑
陶器杖も張暑も杖晴
杖冷おぼれ冷氣お暑



深志ふかぢ 懇こん 意い 厚情こうじやう 眞加まにか 難有なんあ 今般こんぱん

相増冬も寒冷向を
正室も嚴寒も切先知
冲前もく様も並け
穢煙能も遊沖も登江
為入も泳も常健も安
恭安も全仕健も安寧

日外 嘗言其地
 時昔 又皆有用 昨今
 示來 たるもの
 毎事 目 前 廉
 行幸 天に比 けり
 御 成 將軍 大 還幸
 天の 御 衆 御 家
 出御 能く 光臨
 來駕

賢賜 望 望 望 望 望
 矣 矣 別 矣 矣 矣 矣
 尊 尊 尊 尊 尊 尊
 公 公 公 公 公 公
 分 其 之 之 之 之
 公 家 武 家 大 小 名 氏

駕 駕 駕 駕 駕
 枉 駕 枉 駕 枉 駕
 御 訪 御 訪 御 訪
 且 且 且 且 且
 隨 隨 隨 隨 隨
 作 悼 作 悼 作 悼
 得 貴 意 得 貴 意
 可 得 御 意 可 得 御 意
 如 貴 命 如 貴 命
 如 來 意 如 來 意
 靜 謐 靜 謐 靜 謐

所 旗 本 自 國 傳 承
 在 番 主 府 交 代 出 勤
 仕 事 音 子 後 止 厭 止
 掃 心 收 目 出 務 理 手
 大 考 大 收 出 賃 決 收
 祝 者 油 是 已 重 一 展

世の中は貴意易く
 安堵 盜賊の心
 良暫 兎角
 無據 持たぬ
 約束 約束
 約諾 約諾
 用捨 用捨

彼等重疊は合は終
 祇候清目見せ滞
 無意却合能首尾
 好は為海結構は終
 之清意彼家作は
 終月清海志の終



宥恕 宥恕
 勿論 勿論
 曾而 曾而
 毛 毛

頑は厚情真加至極
 雖有忍入身畏赤奪
 次弟仕合今敢今
 度世夜を先年去
 子先月五月先頃
 先達白日外明夜今

頭もわらわし麻略 豆とさき 麻略く果ら
不埒はひたす 不埒 不埒たるもの
人の目の目撃 不東 不東なるもの
念頃 念頃 念頃なるもの
如女信にまつ 如在 如在なるもの
底 底 底なるもの
敢而 敢而 敢而なるもの
既 既 既なるもの
時 時 時なるもの

暎今朝晴昔以今
 け間其後主以後其
 以来尔来明日の境
 日望於每半前席
 あり廣也行幸清成
 還幸還許出清沙

即席 即席 即席なるもの
目次 目次 目次なるもの
挨拶 挨拶 挨拶なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの
會釋 會釋 會釋なるもの

光臨入来入清沙
 来駕枉駕のる少指
 外更列白持又具又
 物を波白入候は去
 有之致は候也持矣
 長度不可得也所作

田 退屈 窮屈 疲勞 草卧 普請 建立 移徒

如貴命 如來之當
 地 長崎甲府後府山
 東大坂 奈良塔
 田日光浦賀 泰平
 易 易 易 易



敏昌 家督 隱居 遺跡 婚

易 易 易 易
 下 下 下 下
 互 互 互 互
 取 取 取 取
 止 止 止 止

山川の舟もあつたやうに
 さまざまの世の中の仕事も
 つつとまのたぐひを
 都合よくとらふ用 証文
 借入書 注文 手形
 折節 催促 律義 遅速
 毎度 再應 貨物
 中の人質と云ふ 折節
 折節 催促 律義 遅速
 毎度 再應 貨物
 中の人質と云ふ



おとし 白濟 のこぼる 永
 文 一両三百六十文 金
 銭 永濟 支度
 物の用を 運送 馬
 賃 吳法 支度

淡對法 換撥 去釋
 榮和 森乞 振舞 振
 債清 待少 招月 待白
 約券 命系 舍少 張乞
 縮く 遊山 樂帰 出ぬ
 宿在 宅私 出拵 宅

田守 追留 泊退 屋
 窮否 疲骨 汚草 外
 也尊 完貴 表少 別
 庄少 家化 書信 生作
 修後 造管 達之 立棟
 上移 汽燈 補脚 為

貧乏の便利よりと云ふは
 と云ふは、いふまでもなく、
 往還 由は、いふまでもなく、
 不圖 不意に、いふまでもなく、
 貪着 貪むる、いふまでもなく、
 差別 差別、いふまでもなく、
 喧嘩 喧嘩、いふまでもなく、
 急度 急度、いふまでもなく、
 了簡 了簡、いふまでもなく、
 甚辨 甚辨、いふまでもなく、

繁昌繁榮歳久補
 家督相續隠居遺
 跡婚姻聾入胎胎妊
 娠着帯誕生理濟
 誕子初産あ産幼
 少成人成長着冠

酌 酌、いふまでもなく、
 納得 納得、いふまでもなく、
 無覆藏 無覆藏、いふまでもなく、
 間違 間違、いふまでもなく、
 堪忍 堪忍、いふまでもなく、
 格 格、いふまでもなく、
 格外 格外、いふまでもなく、
 天 天、いふまでもなく、
 歩行 歩行、いふまでもなく、
 勝手 勝手、いふまでもなく、

老年老幼老後
 用教の才智利口
 家業家祿家財
 励せ痛怠母と由り
 儉約勤略始末幼定
 費用費失墜沈没

白晝（あきらかに） 白晝（あきらかに） 白晝（あきらかに）
 夕陽（ゆふや） 夕陽（ゆふや） 夕陽（ゆふや）
 黃昏（わうこん） 黃昏（わうこん） 黃昏（わうこん）
 薄暮（はくぼ） 薄暮（はくぼ） 薄暮（はくぼ）
 深更（しんせい） 深更（しんせい） 深更（しんせい）
 放埒（はうらち） 放埒（はうらち） 放埒（はうらち）
 我授（われじゆ） 我授（われじゆ） 我授（われじゆ）
 學問（がくもん） 學問（がくもん） 學問（がくもん）
 素讀（すどく） 素讀（すどく） 素讀（すどく）
 行儀（ぎやうぎ） 行儀（ぎやうぎ） 行儀（ぎやうぎ）
 替古（かへこ） 替古（かへこ） 替古（かへこ）
 作法（さくぱ） 作法（さくぱ） 作法（さくぱ）

穿鑿（せんさく） 穿鑿（せんさく） 穿鑿（せんさく）
 會紙（かいし） 會紙（かいし） 會紙（かいし）
 吟味（ぎんみ） 吟味（ぎんみ） 吟味（ぎんみ）
 裁（さい） 裁（さい） 裁（さい）
 許公事（きよこうじ） 許公事（きよこうじ） 許公事（きよこうじ）
 一件（いっけん） 一件（いっけん） 一件（いっけん）
 損德（そんとく） 損德（そんとく） 損德（そんとく）
 奢（しや） 奢（しや） 奢（しや）
 高現（たかげん） 高現（たかげん） 高現（たかげん）
 金掛（かねかけ） 金掛（かねかけ） 金掛（かねかけ）
 直賣（ちくばい） 直賣（ちくばい） 直賣（ちくばい）
 買拂（かひひ） 買拂（かひひ） 買拂（かひひ）
 度（ど） 度（ど） 度（ど）
 景氣（けいき） 景氣（けいき） 景氣（けいき）
 不（ふ） 不（ふ） 不（ふ）
 却合（けつが） 却合（けつが） 却合（けつが）
 貸借（かいく） 貸借（かいく） 貸借（かいく）
 取遣（とくせん） 取遣（とくせん） 取遣（とくせん）
 日（ひ） 日（ひ） 日（ひ）
 純澄（じゆんじやう） 純澄（じゆんじやう） 純澄（じゆんじやう）
 文淨（ぶんじやう） 文淨（ぶんじやう） 文淨（ぶんじやう）
 又入（またいれ） 又入（またいれ） 又入（またいれ）
 替（かへ） 替（かへ） 替（かへ）



修行（しゆぎやう） 修行（しゆぎやう） 修行（しゆぎやう）
 失念（しつねん） 失念（しつねん） 失念（しつねん）
 支（し） 支（し） 支（し）
 厄介（やくけい） 厄介（やくけい） 厄介（やくけい）
 親族（しんぞく） 親族（しんぞく） 親族（しんぞく）
 縁者（えんしや） 縁者（えんしや） 縁者（えんしや）

送状（おくりじやう） 送状（おくりじやう） 送状（おくりじやう）
 手形（てがた） 手形（てがた） 手形（てがた）
 貨物（かぶつ） 貨物（かぶつ） 貨物（かぶつ）
 支（し） 支（し） 支（し）
 替（かへ） 替（かへ） 替（かへ）
 届（とど） 届（とど） 届（とど）
 替仕入（かへしにれ） 替仕入（かへしにれ） 替仕入（かへしにれ）
 金銀（きんぎん） 金銀（きんぎん） 金銀（きんぎん）
 再（さい） 再（さい） 再（さい）
 再（さい） 再（さい） 再（さい）
 三（さん） 三（さん） 三（さん）
 每（まい） 每（まい） 每（まい）
 度折（どせり） 度折（どせり） 度折（どせり）
 節度（せつど） 節度（せつど） 節度（せつど）
 催促（そくそく） 催促（そくそく） 催促（そくそく）
 律（りつ） 律（りつ） 律（りつ）
 度（ど） 度（ど） 度（ど）
 正直（ちやくじき） 正直（ちやくじき） 正直（ちやくじき）
 生速（なますみ） 生速（なますみ） 生速（なますみ）
 締（しめ） 締（しめ） 締（しめ）
 澄取（じやうとく） 澄取（じやうとく） 澄取（じやうとく）
 取（と） 取（と） 取（と）
 年（ねん） 年（ねん） 年（ねん）
 貢（ぐ） 貢（ぐ） 貢（ぐ）
 皆（みな） 皆（みな） 皆（みな）
 海田（うみで） 海田（うみで） 海田（うみで）
 畑（はたけ） 畑（はたけ） 畑（はたけ）

従は才丈の杖 従類
才たひに多き
 由緒すく 眷屬
眷
うづる族の中 朋友
同とのけき
一やうの手より 朋
りとのよき 傍
さいつかの師 師範
たかひよふ
能い 師匠
た 無
なる 踈遠
沙汰 沙汰
の 無音
背本意 背本意

氣之毒
俗おて
 笑止
今
 迷惑
 飛脚
 飛し
使者
 口儀
 尊顔

金納士大判小判
 文穂積や旅宿費
 足敷の發駕支度
 用意く荷物運
 持運幸路程く日
 雇人足傳馬宿帳

結貨酒代往還性
 來途中不居分計
 不存寄高退近足
 障世々貪者空名前
 喧嘩口論物言申事
 等半生急度殿敷

貴顔おまきかん 貴き
 面謁めんぎやく 面謁めんぎやく
 面上めんじやう 面上めんじやう
 落手らくしゆ 受納じゆなう
 落掌らくしやう 落掌らくしやう
 苦勞くろう 苦勞くろう
 難澁なんじやく 難澁なんじやく
 難題なんだい 難題なんだい
 儀ぎ 儀ぎ

可慎べいしん 可慎べいしん
 堪忍かんにん 堪忍かんにん
 思齊しせい 思齊しせい
 我儘わがまま 我儘わがまま
 夕陽せきやう 夕陽せきやう
 深更しんげい 深更しんげい
 夜陰やいん 夜陰やいん
 白昼はくちゆう 白昼はくちゆう



氣色きしやく 氣色きしやく
 養生じやうじやう 養生じやうじやう
 相應さういん 相應さういん
 全快ぜんくわい 全快ぜんくわい
 追放おひだつ 追放おひだつ
 學問がくもん 學問がくもん
 武藝ぶげい 武藝ぶげい
 續手ついで 續手ついで
 法はふ 法はふ
 他た 他た
 失念しつねん 失念しつねん
 支離しり 支離しり
 病びやう 病びやう
 死し 死し
 活くわく 活くわく
 厄やく 厄やく
 女によ 女によ
 家か 家か
 内ない 内ない
 親しん 親しん
 於お 於お

緩急 ゆるぎ 貴 き
 墨 すみ 貴札 きさつ 委 い
 田 いり 具 ぐ 態 たい
 勤 きん 叮嚀 ていねい
 人 ひと 用 もち 届 とど 却 かえ 透 と
 無念 むねん 無寸暇 むすんげふ

口 くち 儀 ぎ 尊 そん 顏 げん 貴 き
 教 けう 貴 き 面 めん 西 せい 面 めん 上 じやう
 態 たい 肉 にく 息 いき 也 や
 清 せい 血 けつ 落 らく 子 し 更 せい 油 ゆ 落 らく
 掌 しやう 心 しん 部 ぶ 少 せう 大 だい
 候 こう 苦 く 苦 く 難 なん 能 ねん 難 なん 顏 げん
 十



出 で 残 ざん
 念 ねん 無念 むねん
 伴 ばん 同伴 どうばん
 同道 どうだう 誘 ゆう
 引 ひ 改 かい 曆 れき 御 ご

立 た 膝 ひざ 所 ところ 方 かた 遠 とほ 例 れい 氣 き
 魚 いさな 病 びやう 字 じ 煩 わづらひ 少 せう 痛 いた 行 ゆき
 物 もの 日 ひ 增 ま 法 ぽう 論 ろん 筆 ふで 法 ぽう
 枝 えだ 少 せう 人 ひと 全 ぜん 枝 えだ 生 せい 生 せい 專 せん
 一 いち 清 せい 兼 けん 相 さう 色 しき 出 で 儀 ぎ
 加 か 持 ぢ 行 ぎやう 禱 たう 以 い 系 けい 系 けい

慶けい よろこぶ 吉兆よききざし 盡期しんじき
 際限さいげん 佳例けいれい 嘉儀かぎ 祝いわい
 詞ことば 嘉詞かご 上巳じやうし 端午たんぶ 七夕せつた
 七月七日しちがつしちじつ 朔しやく

載こ 未きん 上じやう 何い 之こ 推すい 察さん
 慈こん 令めい 取しゆ 望めい 掃せう 志し 私し
 毒さう 悴せうれ 娘むすめ 兄きやう 弟てい 姊あひ 妹いめ
 伯お 父ちち 叔おとこ 母はは 從しやく 弟てい 甥おひ
 姪めい 孫まご 曾ひ 孫こ 玄ちゆう 孫まご 流りゆう
 智ち 腹はら 智ち 胃い 非ひ 聾そう 聾そう 聾そう 聾そう

八月はちがつ 重陽ちゆうやう 九月くがつ 陽やう
 十月じゅうがつ 嘉祥かしょう 玄猪げんちゆう 規式きしき
 七種しちしゆ 七種しちしゆ 七種しちしゆ 七種しちしゆ
 職しやく 職しやく 職しやく 職しやく

子こ 婿むこ 嫁よめ 女むすめ 痛いた 妬ねた 推すい 察さん
 推すい 量りやう 察さん 入いり 醫い 入いり 醫い
 涉せつ 吟いん 迹あと 之こ 吟いん 之こ 吟いん
 肉にく 气き 耳みみ 支し 色いろ 已い 然ぜん
 支し 併へい 及およ 去き 就しゆう 中ちゆう
 魚いさな 外がい 憚はた 後ご 急いそ 急いそ 急いそ

牽牛織女の二ツのや、天の川
とてか、あり七月七日のよ
牽牛の川とて見ゆ織女
も合つてやういふものな
魂棚 魂のまつる精霊會
七月のひひせんとて、
果は靈膳 せんごり 供
物供を、初穂のねあな
なより合せふいふ、な
焼香 かんとなく、看經
火香 とのふき、
日向 めつむ
執事 已善 冥
幸い るい 酉月

おぼへたるもの、
すのうらへ、
郷食應、
会の、
梅の、
花の、
ひは、
甲と



貴星 貴星 貴星 札委 細具
兼知 兼知 兼知 丁寧
入法 入法 入法 及水 及水
聞 聞 聞 届安 届安 却白 却白
須 須 須 痛入 痛入 平透 平透
無 無 無 寸海 寸海 殊甚 殊甚
此 此 此

開 開 開 友 友 友 母 母 母 心 心 心 星 星 星
少 少 少 物 物 物 結 結 結 彩 彩 彩 儀 儀 儀 外 外 外
出 出 出 疎 疎 疎 甚 甚 甚 念 念 念 同 同 同 伴 伴 伴
同 同 同 之 之 之 法 法 法 法 法 法 法 法
新 新 新 春 春 春 年 年 年 始 始 始 改 改 改 曆 曆 曆
沖 沖 沖 慶 慶 慶 吉 吉 吉 幸 幸 幸 在 在 在 此 此 中 中 納 納

のふま 亭主 （たかやまのり）
 土主人のかららうあつてつ
 イチのふま今更又
 の又せいのの金
 人のふまを賄つて
 力の用てつて
 と知て手傳へ
 心なつて物數寄
 たをけつて
 めつてしめつて
 命のとき賞翫
 食のとき賞翫
 字のとき賞翫
 りつて食のつて
 拜味 （たかやまのり）
 のふま 酒宴 （たかやまのり）
 たり 醜 （たかやまのり）

中 籠 不 下 有 費 初 際
 限 休 期 少 座 法 佳 例
 乙 加 依 後 系 赤 銅 上
 己 指 年 七 夕 八 朝 重
 陽 嘉 祥 玄 猪 威 言
 年 尾 節 會 規 武 士

酹 （たかやまのり）
 尾籠 （たかやまのり）
 却 （たかやまのり）
 面目 （たかやまのり）
 流石 （たかやまのり）
 万端 （たかやまのり）
 穩便 （たかやまのり）
 希 （たかやまのり）

柳 離 幟 星 合 魂 柳 精
 靈 會 冥 膳 供 物 初 禮
 燒 香 看 經 回 向 執 行
 配 膳 食 息 渣 毒 料
 理 容 亭 主 務 口 死 持
 給 仕 人 主 作 収 納 下 働

合點 許客 違 背 偏 入 是 非 而 序 刻

 此の合點は、許客の違背を偏入して是非を断つるに非ず、而して序の刻を以て、
 其の意を明かにす。

手傳 將 拘 救 奇 好 物
 殊 味 貴 難 持 味 酒 高
 醜 耐 沈 碎 尾 龜 龍 蝦
 忘 却 面 目 海 不 和 友
 美 端 百 半 穩 便 隱 密
 杉 願 希 合 悲 均 心 汗

披 露 執 成 被 懸 曹 意 芳 意

 披露は、執成の被懸を曹意に對して、
 其の芳意を明かにす。

容 遠 宵 何 卒 悔 入
 裁 重 夜 苦 毛 班 々
 庭 自 序 之 刻 口 披 露
 小 執 成 品 百 奇 之 漢 正
 是 也 意 亦 意 昔 意
 掛 沙 因 也 惠 投 也 指



御惠投みづかひ被贈下まがたまはる 送給おくりたまはる 進覽しんらん 進上しんじやう 寸志すんし 輕微けいび 入部いりぶ 鷹野たかのの 鹿狩かじ 不取敢ふとりあはせ 内室うちむろ

貴賤きせん 群集ぐんしゆ 祭禮さいらい 法事ほふし 鷹野たかのの 鹿狩かじ 不取敢ふとりあはせ 内室うちむろ

下送くだう 給款おくりたまはる 進上しんじやう 進上しんじやう 覽中らんちゆう 傳別でんべつ 輕微けいび 寸志すんし 中斗ちゆうと 後列ごれつ 入部いりぶ 列れつ 支助しじゆ 群集ぐんしゆ 祭禮さいらい 法事ほふし 智理ちり 麻あし

持行ぢかう 磨石あらいし 不相ふあひ 智理ちり 麻あし 敢あはせ 奥方おくはう 肉にく 玉たま 肉にく 儀ぎ 高たか 姫ひめ 綢布ちゆうふ 尊公そんこう 精せい 縁組えんぐみ 結構けいこう 納のり 糎ちん 未ま 能のり 登のり 城じやう 法ほふ 加か 增ぞう 法ほふ 及あひ 替かへ 心こころ 寝ね 養やしやう 美み 立たつ 成なり 出い 世よ 界かい

消息抄

消息抄

進家の系圖の血統
家柄世俗柄の
頂戴のりたのせ
後音時
腰法馬一疋頂戴洋
順持青二種一荷
音之付存在後信也

進家屋敷後法
春状系圖家柄為
後音時
腰法馬一疋頂戴洋
順持青二種一荷
音之付存
在後信也



恐惶
謹言
頓首
敬白
不
備

後音時
腰法馬一疋頂戴洋
順持青二種一荷
音之付存
在後信也



ヨコスカ
富田清吉
天正